都城工業高等専門学校	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	校外実習

科目基礎情報

科目番号	0062	科目区分	専門 / 選択
授業形態	実習	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	建築学科	対象学年	4
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材			
担当教員	中村 裕文		

到達目標

1.実習先で求められる実習内容を概ね理解し,実行する.
2.企業・研究機関の現場の知識,技術を体験し,技術者としての倫理観を育成する.
3.企業・研究機関の現場で専門知識・技術がどのように活かされているかを認識する.
4.実習の内容についてまとめた報告書を作成する.

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	実習先で求められる実習内容を理解し，実行できた.	実習先で求められる実習内容を概ね理解し,実行できた.	実習先で求められる実習内容を実行できた.
評価項目2	企業・研究機関の現場の知識技術を体験し，技術者のとしての倫理観を確立できた.	企業・研究機関の現場の知識,技術を体験し,技術者としての倫理観を育成できた.	企業・研究機関の現場の知識技術を体験できた.
評価項目3	企業・研究機関の現場で専門知識・技術がどうのように生かされているかを体得できた.	企業・研究機関の現場で専門知識・技術がどのように活かされているかを認識できた.	企業研究機関の現場で専門知識・技術を見学した.
評価項目4	実習の内容について理解し，まとめた報告書を作成できた.	実習の内容についてまとめた報告書を作成できた.	実習の感想を報告書に記載できた.

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	1)建築資材の生産や建築物の組立工程に用いられる現場の知識や技術を実際に体験し,職業 観と技術者倫理観の育成を図る. 2)専門知識・技術が現場でどのように活かされているかを認識し,今後の学習の目標と計画策定 の参考とする.
授業の進め方・方法	実習中は実習先のルールを遵守し,安全面に注意を払うこと. 学生らしい真摯で積極的な態度で与えられたテーマに取り組むこと. 定められた実習期間を守り,無断欠席・遅刻などしないこと. 実習後に研修内容をまとめた報告書を担当教員に提出すること.
注意点	1.実習期間は夏季休業中とする. 2.実習先は原則として企業・研究機関とする. 3.実習期間は10日程度(実質研修日が最低5日)とする. 4.企業等並びにその業務内容の情報収集を行うこと. 5.職業人としての意識の形成を図ること. 6.技術者としての倫理観の育成を図ること. 7.レポート(報告書)作成能力を養うこと. 8.自己表現力の育成を図ること.

ポートフォリオ

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	校外実習	実習先で求められる実習内容を概ね理解し、実行する。企業・研究機関の現場の知識,技術を体験し,技術者としての倫理観を理解する。企業・研究機関の現場で専門知識・技術がどのように活かされているかを認識する。
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100

基礎的能力	0	0	0	0	0	34	34
専門的能力	0	0	0	0	0	33	33
分野横断的能力	0	0	0	0	0	33	33